

平成19年度の樹木博士認定会の取り組みについては、公募により4回（6月、7月、8月、9月）の定期開催を実施しました。また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で行っている生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。定期開催の開催結果の内容については、次のとおりです。

平成19年6月17日（日）、第1回目の樹木博士認定会を開催しました。参加者は、地元七飯町を始め近隣市町から18名となり、このうち初めて参加する人が11名と多かったことから、認定会の対象木とする20本は、地域に馴染み深い樹種を中心に選定することとしました。当センター職員からコース内の立木とガイドブックで簡単な説明をした後、テストを行いました

今回は対象木が比較的簡単だったためか、20点満点で平均19点と、参加者全員かなりの好成績を納めました。

当日は好天に恵まれ、少々汗ばむぐらいの陽気でしたが、参加者は初夏の草花に目をやったり、心地よい風に吹かれながら樹木博士認定会を楽しんだ一日でした。



平成19年7月24日（火）、第2回目の樹木博士認定会を開催しました。認定会は、好天の下17名が参加しました。渡島森林管理署からも、森林環境教育の受講として2名に参加していただきました。

当日は、ベテラン組も多数参加していたことから、初心者と有段者にグループ分けをして、有段者には試験対象木を30本とし、他の参加者には試験対象木を20本として実施しました。

認定会の結果は、4分の3以上の参加者が満点を獲得するなど、参加者の樹木博士に対する高い意識が伺えました。また、終了後には手作りのお弁当を食べ、森林浴を楽しみ、それぞれが有意義な時間を過ごしました。



平成19年8月7日（火）、第3回目の樹木博士認定会を開催しました。認定会当日は、夏休み中ということもあり、小学生5名を含む21名の参加により実施しました。

当日は、初めての試みとして、ベテラン組の参加者にも講師をしてもらうことを企画しました。既に樹木博士8段を獲得している参加者の松田さんに事前学習コースの講師をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。小学生などの初心者組を受け持って貰い、懇切丁寧な説明と女性ならではのやさしい語り口調で好評を得ました。

この日は、前回とは打って変わって雨の中の開催となったにも拘わらず、多くの方に参加していただき、参加者の皆さんの森林や樹木への関心の高さが窺われました。



平成19年9月9日（日）、第4回目の樹木博士認定会を開催しました。当日は、台風一過の好天気の下、小学生1名を含む14名が参加し、対象木20本に挑戦。結果は、半分以上の参加者が満点となり、何度も参加しているベテラン組からは、「次回は30本にしてほしい」との声もあり、来年度実施の際に参考となる意見も聴くことができました。

樹木博士は満点になる度に取得する段位が上がっていきませんが、今回の樹木博士認定会で樹木博士の最高段位となる10段を取得した参加者も出て、森林レクリエーションへの関心の高さが窺われました。

今年度の参加者総数は70名であり、多くの参加者は今後も参加すると話しています。来年度に向けては新設コースの開設も含め、更なる充実を図るべく取り組んでいきます。



## 自然再生等モデル事業以外の取り組み

### ☆ 森林づくり塾2007 開講

#### 目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

平成19年5月20日（日）森林づくり塾2007第1回講座スタートしました。冒頭、高橋ふれあいセンター所長より、塾の目的、森林のもつ公益的機能及びボランティア活動の必要性と推進を期待する旨の挨拶がありました。続いて、樹木医の齋藤 晶先生を講師として「森林づくり及び公益的機能の基礎講座」の講義を実施しました。



昼からは、体験実習である「広葉樹の植樹体験」を行うため、バスにて場所を七飯町のカリマ国有林に移動し、植付の目的、樹種の選定基準等の基礎を学んだ後、面積0.17haにミズナラ400本、エゾヤマザクラ10本を大きく育つことを願い植付を行い、心地よい汗を流しました。

平成19年6月10日（日）、2回目講座を塾生31人が参加して開催しました。午前中に七飯町の西大沼国有林の「樹木博士認定コース」にて、北海道アウトドアガイド（自然）の木村マサ子さんを講師として、「草本類の観察会」を実施しました。



昼食後、「トドマツ人工林の保育間伐体験」を行うため、同町、吉野山国有林に場所を移動し、協議会の宮崎会長からの指導を受けながら、目的・伐採方法等の基礎を学び作業を行いました。

平成19年7月29日（日）、3回目講座を塾生21人が参加して開催しました。午前中に七飯町の西大沼国有林の「樹木博士認定コース」にて、「樹木の観察会」を実施し、最後には葉っぱを用いた簡単な樹種あてクイズも行いました。



昼食後、場所をカリマ国有林に移動して、「下刈体験」を実施する予定でしたが、前日降った大雨の影響を受けて、現地までバスでの通行は不可能な状況になり残念ながら中止となりました。

平成19年10月14日（日）、4回目講座を塾生27人が参加して開催しました。連続講座の最終回となる今回は、講師として樹木医の齋藤 晶さん、北海道アウトドアガイド（自然）の木村 マサ子さんを招き、アドバイス・指導を受けながら、午前中は北斗市の茂辺地国有林にて、スギの枝払いの目的・効果等の基礎を学び作業を実施しました。昼食後はバスにより、函館事務所会議室に場所を移し、「クラフト（押し葉）作り」に挑戦しました。



最後の閉講式では、所長から塾生に修了証書を授与し「森林づくり塾2007」を終了しました。

## ☆ その他

平成19年6月2日（土）、21世紀道南の森づくり事業実行委員会（委員長 武下秀雄）が人見保育所（函館市）及び当ふれあいセンターと連携して、「ひとみっこの森づくり」植樹祭を開催しました。この「森づくり」は平成17年度から毎年実施しており、保育園児が森林と親しむことで、心の強さと人への思いやりを育みたいと考えた、保育園からの要請から始まり、今年で3回目の実施となりました。

植樹祭当日は、好天に恵まれ、園児、保護者、保育士、実行委員会のメンバー総勢60名により、ミズナラ250本、エゾヤマザクラ6本を約1時間で植え終わりました。植樹は、保護者と子供たちの共同作業で一生懸命行って、また昼食後、センター所長からフキのおめん遊びや、笹舟及び笹笛づくり等の伝承遊びを教わり、参加者は真剣に取り組んでいました。



平成19年6月23日（土）・24日（日）に、JR函館駅西口横の「クイーンズポートはこだて」（大手町）において、「はこだて花と緑のフェスティバル2007」が開催されました。当ふれあいセンターは、その両日に参加し、森林環境保全ふれあいセンターの役割や自然再生モデル事業の取組み内容、森林の植物（開花している写真32枚）を各パネルに展示して紹介したほか、簡易な「樹木博士認定会」を実施しました。



平成19年7月13日（金）、カリマ国有林のふれあいの森「大沼湖の魚を育てる森」において、「大沼の水と緑を守る会」の下刈り作業に参加しました。

当日はあいにくの天候でしたが、参加された方々は心地よい汗をかき、作業後は全員でお茶を飲みながら、その労をねぎらいました。



平成19年7月19日（木）、北海道教育大学付属函館中学校（函館市美原）からの依頼を受け、「環境問題を含めた森林の役割」に関する質問事項について、1年生9名を対象に資料等を用いて説明しました。

なお、この授業は総合的な学習の時間を利用して行われ、学生達は職員の説明に対して、メモを取りながら、また質問を交えながら熱心に学習していました。



平成19年10月12日（金）函館市湯川中学校において、開校60周年記念行事として、森林環境教育の講演と、庭園にエゾヤマツツジ外75本のツツジを植樹する行事に参加しました。

主催は、当中学校同窓会と21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会であり、主催者の方から当ふれあいセンターに当行事の中で森林環境教育の講演と植樹指導の依頼があり参加実施することになりました。

講演では、センター所長から「森林の働きと地球温暖化防止について」の題名で約40分間行い、森林の持つ公益的機能についてと地球温暖化とは何かとそのメカニズム及び自分たちにできる防止対策などについて、スライドを使用し説明を行い、この後、学生達と一緒に植樹を行い記念行事を終了しました。



平成19年10月27日（土）、道庁赤レンガ庁舎前庭（札幌市中央区）を会場に「道民森づくりネットワークの集い」が開催されました。

当ふれあいセンターからは、「大沼地域自然再生等モデル事業」の平成19年度のこれまでの取り組みについてパネルを展示するとともに、パウチフィルムに挟んだ樹木の葉を使用して樹木博士認定会を実施しました。



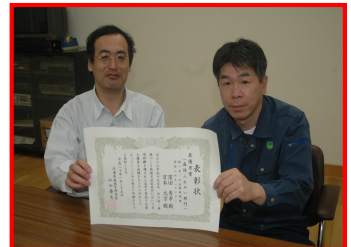
平成19年11月5日（月）、日本森林学会北海道支部大会が、コンベンションセンター（札幌市）で開催され、当ふれあいセンターはポスター発表という形で参加しました。

内容は「多様性のある森林づくりと学習教育」と題して、大沼地域自然再生等モデル事業、また森林環境教育の取り組みなどについて、パネルを用いて説明しました。



平成20年1月24日（木）、北海道森林管理局（札幌市）において平成19年度北の国・森林づくり技術交流発表会」が開催されました。

当ふれあいセンターは「森林づくり塾2007の取り組みについて」を発表し、賞を受賞することができました。



平成20年2月20日（火）、渡島東部森づくりセンター主催「森への誘い講座」が、当ふれあいセンターの樹木博士認定常設コース（西大沼国有林）で開催されました。この「森への誘い講座」は、渡島東部森づくりセンターが年間8回の基本講座を行っており、当ふれあいセンターでもフィールドの提供と講座のサポートを行い、好天の中実施されました。



平成20年3月9日（日）、吉野山国有林の「吉野山ふれあいの森」において、「大沼の水と緑を守る会」による、森の復活観察会を実施しました。当箇所は大沼スキー場の跡地であり、毎年この時期に観察会を実施しています。

当日は春を思わせる絶好の天候の中、全員が山頂484mにたどり着き、みごとに再生された森林について、意見交換を行いました。



**国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。**

林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林環境保全ふれあいセンター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13

TEL 0138-51-0381

FAX 0138-51-8178

E-mail h\_koma\_f@rinya.maff.go.jp